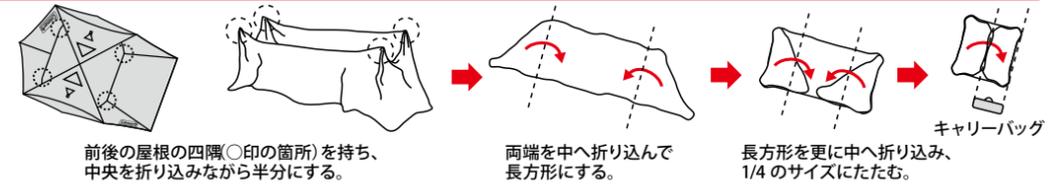


Model 2000038560

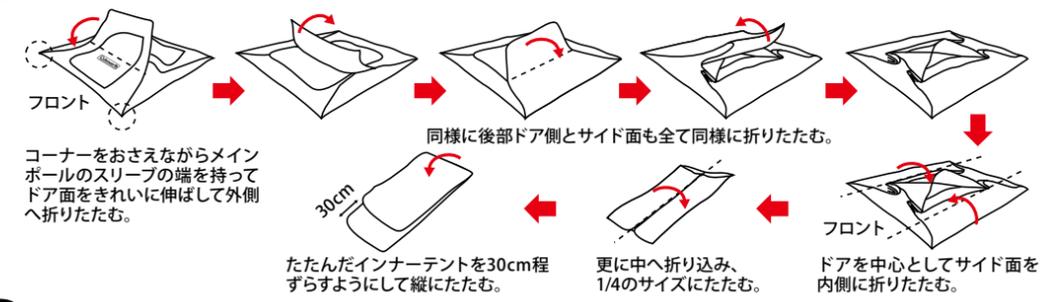
撤収手順 (テント)

STEP1 フライシートを固定したロープ、ペグ、Dリングに掛けたフック、内側にある面ファスナーテープをすべて外して、フライシートをインナーテントから完全に取り外し、下図のようにしてたたみます。

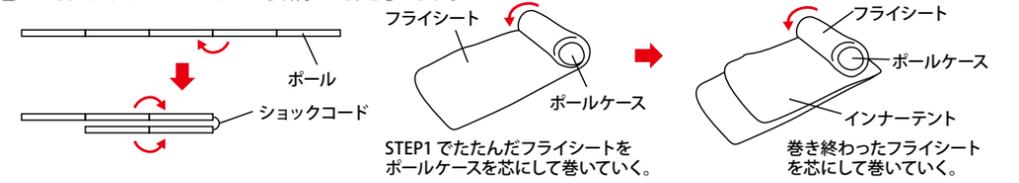
注意 テント・タープ生地を濡れたままで収納しますと防水効果が著しく損なわれる為、ご使用後はフライシート・インナーテント(タープの場合スキン)の、汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。



STEP2 インナーテントのポールをすべて外し、空気を逃がすためにフロント・バックドアの下部をあらかじめ開けておいてから、四隅をきれいに広げ四角形になった状態で、下図のようにしてたたみます。



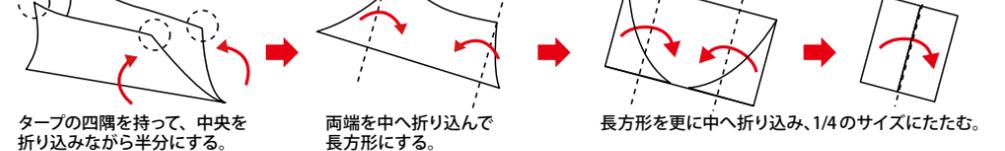
STEP3 ポールを全ておりたたみポールケースに収納し、フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



注意 ポールを収納する際は、真ん中から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均一に、テンションがかかり、ショックコードの寿命を伸ばす事が出来ます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。

撤収手順 (タープ)

STEP1 タープを固定したペグ、ロープ、ポールをすべて取り外し、下図のようにしてタープ本体をたたみます。



STEP2 ポールをポールケースに収納し、タープ本体を下図のように巻いて、キャリーバッグに収納します。



注意 固く巻かないとキャリーバッグに入らない場合があります。

コールマン ジャパン株式会社 お問い合わせ先 コールマンカスタマーサービス：0120-111-957
 受付時間：月曜日～金曜日(祝祭日を除く) 10:00～17:30

COMPACT DOME/LDX START PACKAGE

[コンパクトドーム/LDX スタートパッケージ]

取扱い・組立て説明書



この取扱い説明書は大切に保管してください。

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際には水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。



組立・使用上の注意及び禁止事項

危険 この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかすおそれがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテント、タープの使用はお避けください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でテント、タープを設営しないでください。

注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- テント、タープの設営は基本的に2人以上で行ってください。無理な設営はポールの破損や本体破れの原因となります。
- テント、タープの設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないように注意してください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールのはね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールの組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認しておいてください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について**
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント内の換気を行うことで改善することができます。

収納・管理の注意

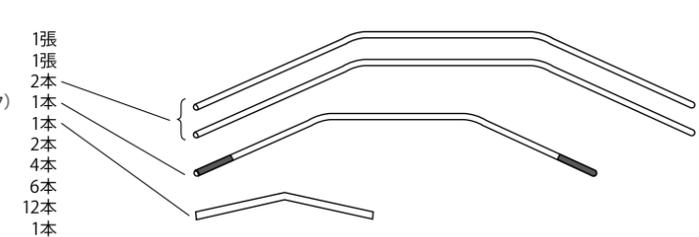
注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納すると、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置すると色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子どもの手の届かない場所に保管してください。

各部の名称・セット内容

セット内容 お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- [コンパクトドーム/LDX]
- インナーテント 1張
 - フライシート 1張
 - メインポール(シルバー) 2本
 - フロントポール(シルバー/ブラック) 1本
 - リアバイザーポール(シルバー) 1本
 - 自在ロープ(ロング) 2本
 - 自在ロープ(ショート) 4本
 - プラスチックペグ 6本
 - スチールペグ 12本
 - ハンマー 1本



[コンパクトドーム/LDX]

インナーテントセット時



フライシート装着時



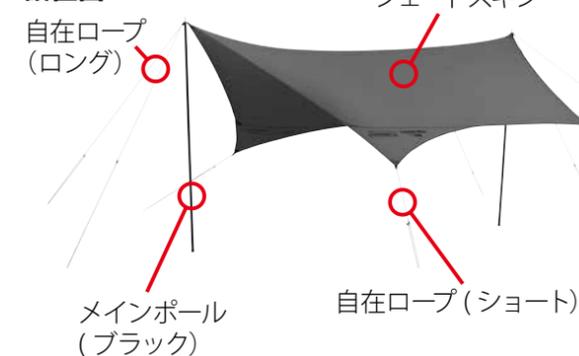
セット内容 お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- [コンパクトヘキサ]
- シェードスキン 1張
 - メインポール(ブラック) 2本
 - 自在ロープ(ロング) 2本
 - 自在ロープ(ショート) 4本
 - プラスチックペグ 8本

- [グラウンドシート]
- グラウンドシート 1枚

[コンパクトヘキサ]

設置図



[グラウンドシート]



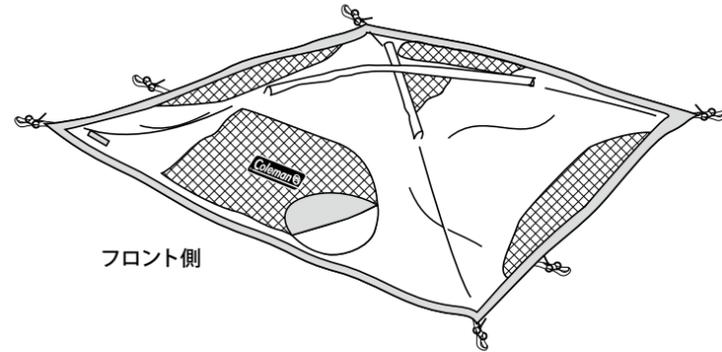
[連結図]



設営手順 (コンパクトドーム /LDX)

I インナーテントを広げる

STEP 1 インナーテントを広げます。コールマンロゴのある方がフロント側になります。空気が入りやすいように、あらかじめ前後のドアのファスナーは一部開けておきます。



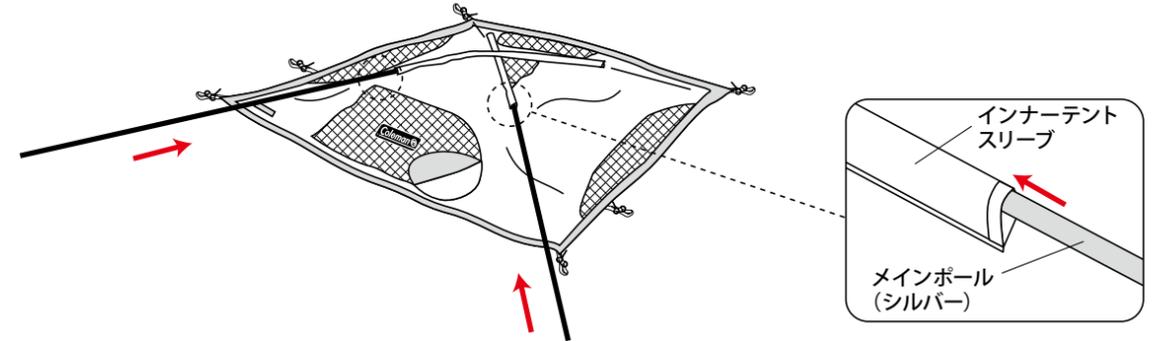
II メインポールを組み立てる

STEP 2 メインポール (シルバー) 2 本を伸ばします。



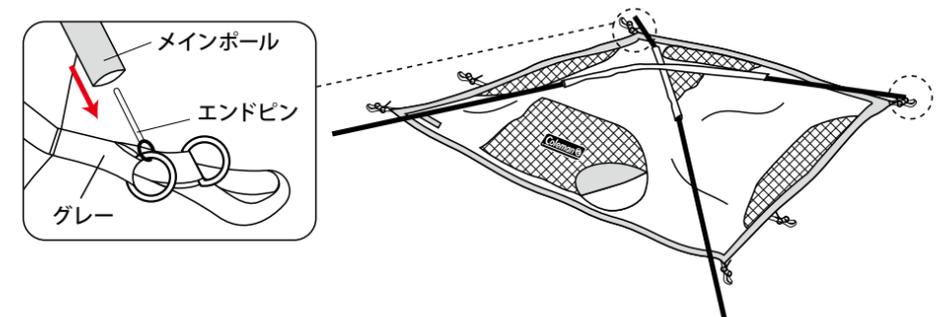
! **注意** ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 3 メインポール (シルバー) 2 本をスリーブに通します。



! **注意** ポールをスリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

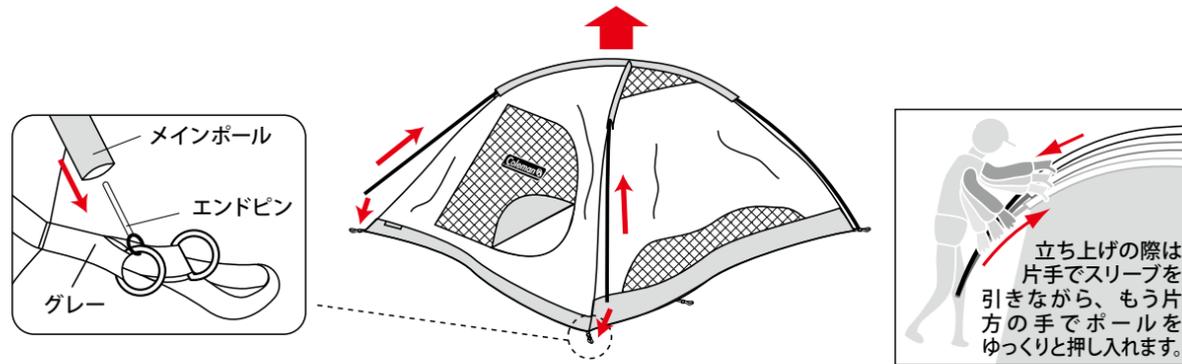
STEP 4 メインポール (シルバー) 2 本を、インナーテントのコーナーにあるループ (グレー) についているエンドピンにそれぞれ差し込みます。



! **注意** ポールをエンドピンに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

STEP 5

スリーブの端を持ち、メインポール（シルバー）2本をそれぞれ押し入れながら、インナーテントを立ち上げます。立ち上がった後、メインポール2本の端を、インナーテントのコーナーにあるループ（グレー）についているエンドピンにそれぞれ差し込みます。

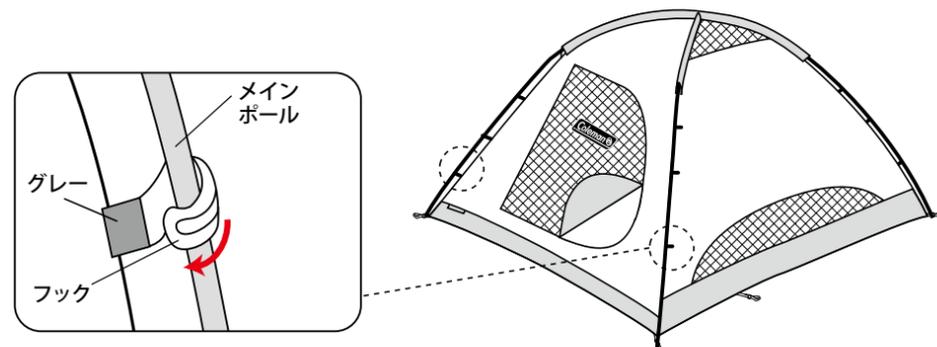


注意

メインポールは2人で2本同時に、徐々に立ち上げてください。立ち上げの際は片手でスリーブを引きながら、もう片方の手でポールをゆっくりと押し入れます。スリーブを持たずに押し込むと、ポールが折れたり生地が破れたりします。

STEP 6

インナーテントについているフック（テープがグレー）をメインポールにかけ固定します。



注意

フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。

III フロントポールをセットする

STEP 7

フロントポール（シルバー/ブラック）を伸ばします。

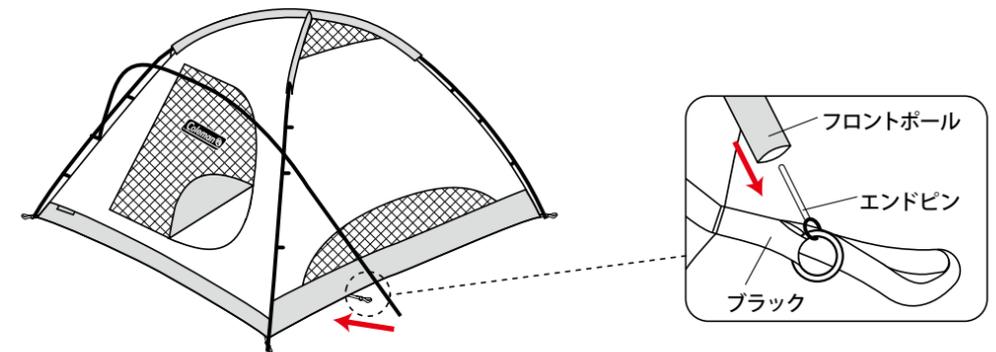


注意

ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 8

フロントポールの端を、インナーテント横にあるブラックのループについているエンドピンに差し込みます。フロントポールがメインポールの上になります。

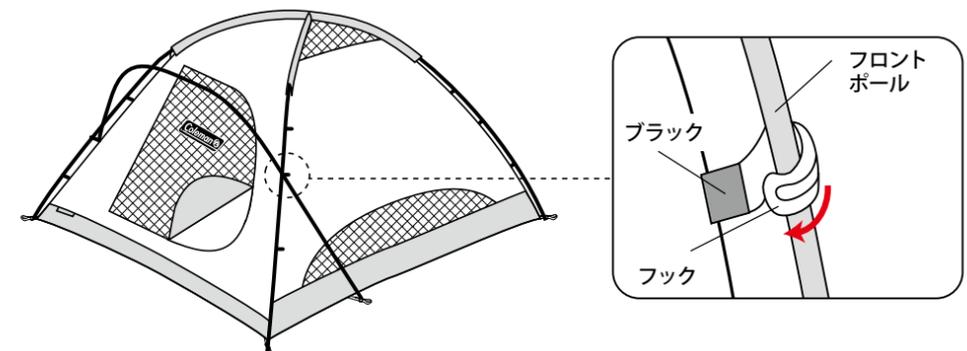


注意

ポールをエンドピンに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

STEP 9

インナーテントについているフック（テープがブラック）をフロントポールにかけ固定します。フライシートをかぶせた時に前室の部分として必要なポールです。



注意

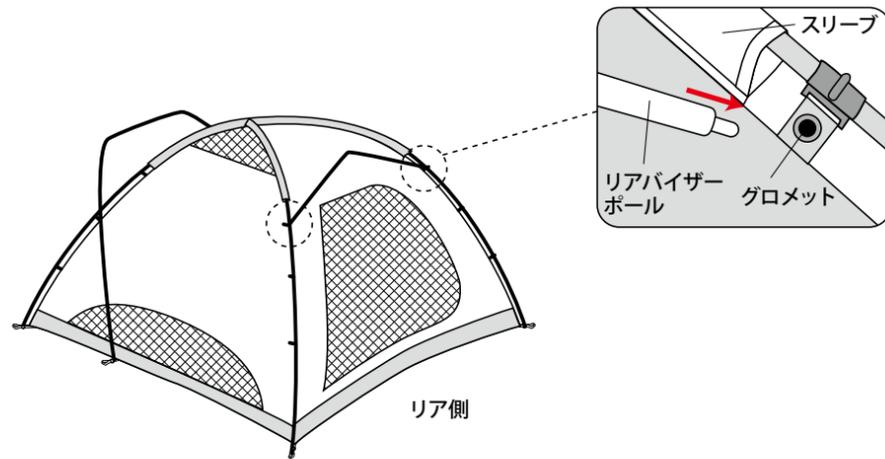
フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。

IV リアバイザーポールをセットする

STEP10 リアバイザーポール (シルバー) を伸ばします。



STEP11 リアバイザーポール (シルバー) の両端を、フックのテープについているグロメットに差し込みます。フライシートをかぶせた時に後室の部分として必要なポールです。



V 設営位置を決め固定する

STEP12 前後のファスナーをすべて閉めます。



注意 ファスナーを開けたまま設営すると、ペグで固定した時にドアが閉まらなくなることがあります。

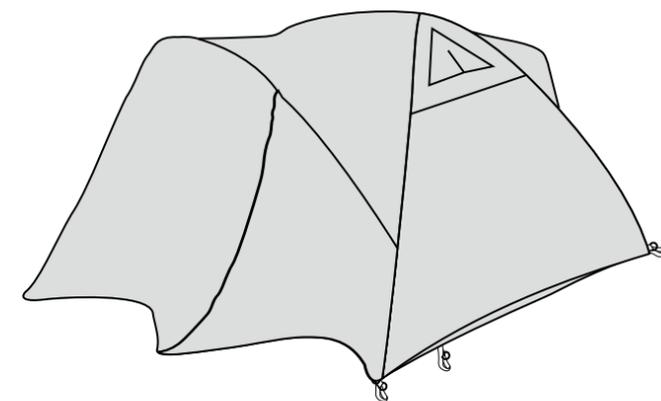
STEP13 設営位置を決め、図のように6ヶ所のループを風上より順に (①~⑥) 対角線にペグを打ち込み、テントを固定します。



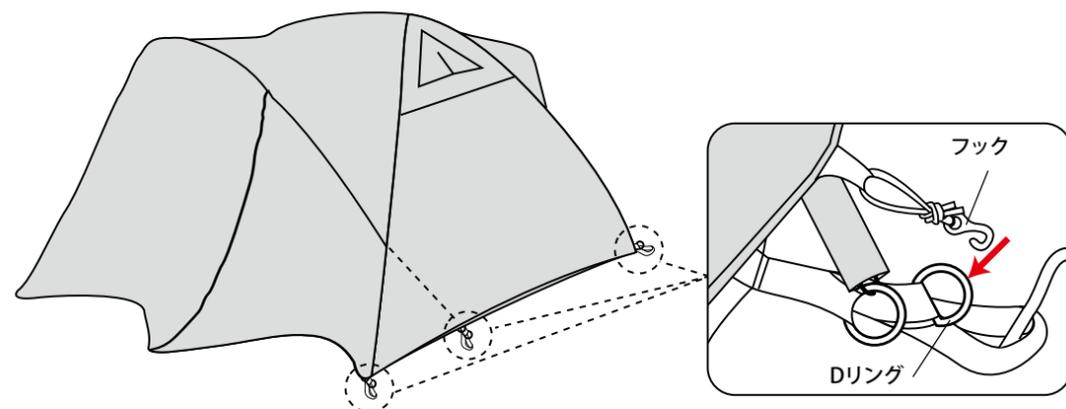
注意 フロアにシワがなくなるように、ループを少し引っ張りながらペグで固定してください。

VI フライシートをかぶせる

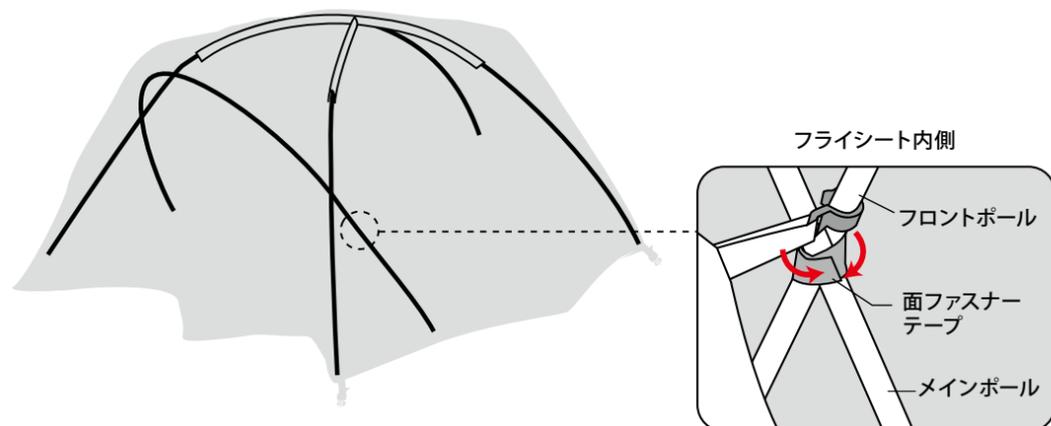
STEP14 フライシートをかぶせます。この時に、フロントポール、リアバイザーポールはフライシートの内側になります。



STEP 15 フライシートの端についているフックを、インナーテントコーナーとフロントポール端のテープについているDリングにかけます。

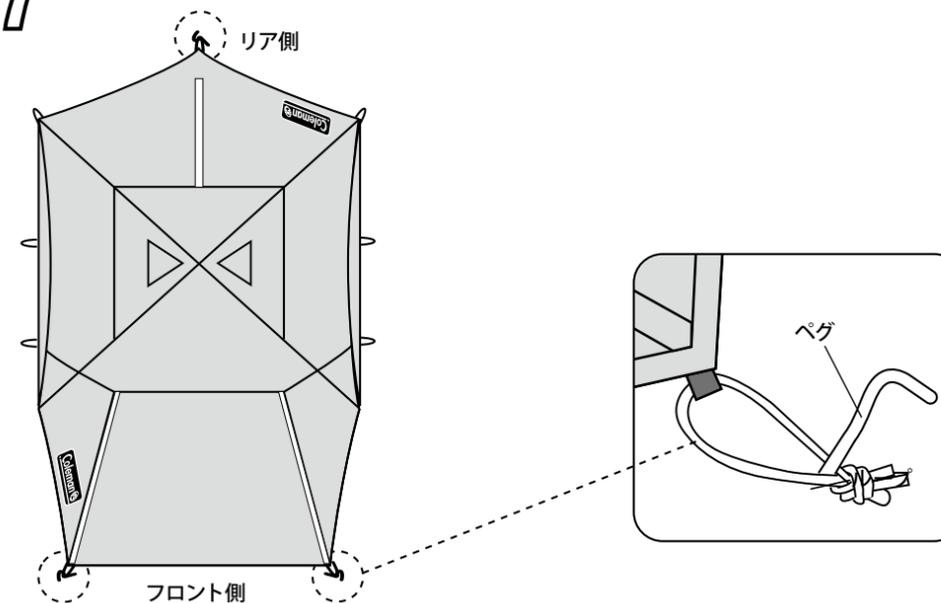


STEP 16 フライシート内側にある面ファスナーテープを、それぞれのポールにとめて固定します。



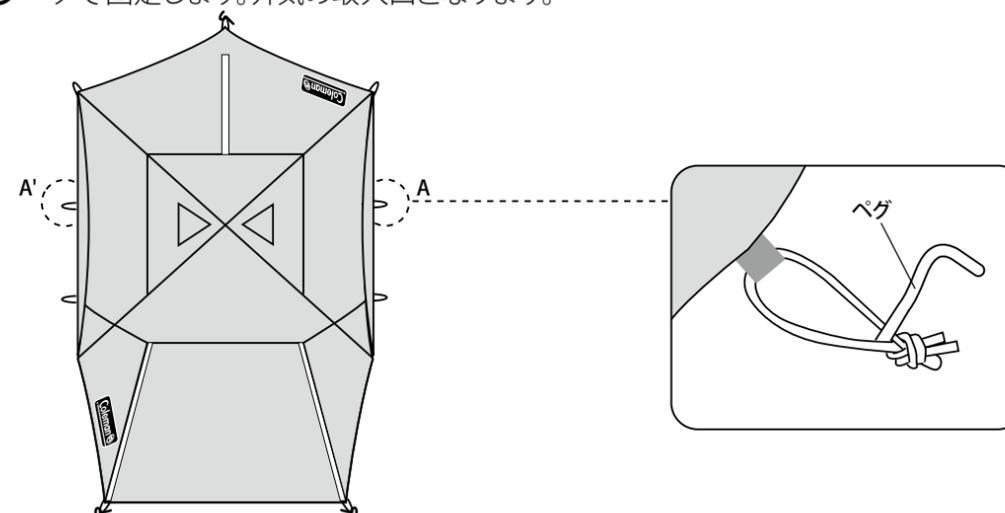
VII ペグで固定する

STEP 17 フロント、リア側のループを張り出し、ペグで固定します。



注意 テープを引きすぎないように注意してください。ファスナーに負担がかかりフライシートが破損するおそれがあります。

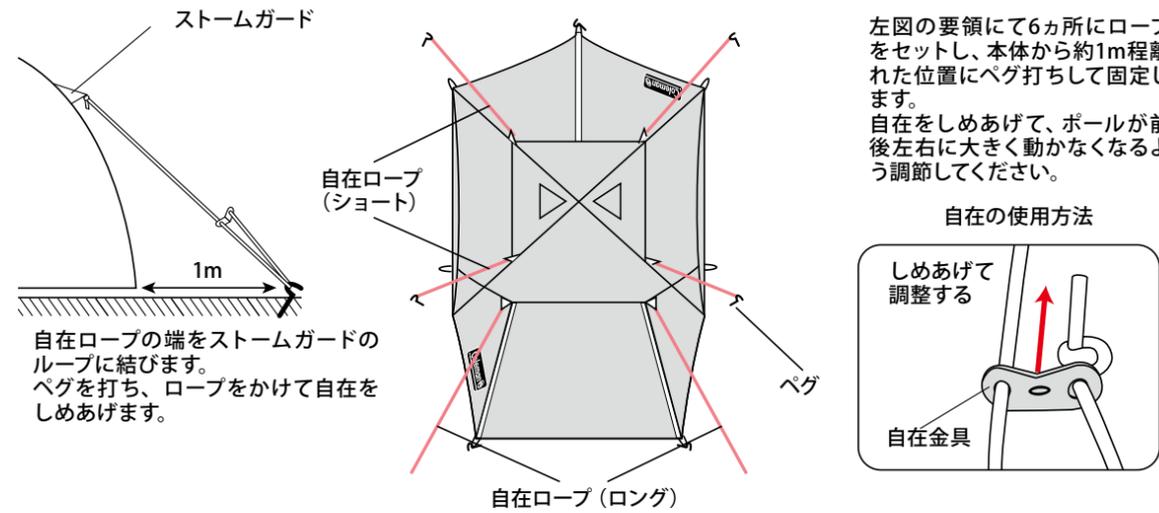
STEP 18 サイド (A・A') のループを外側に引っ張り、インナーテントから十分離れた場所にペグで固定します。外気の取入口となります。



注意 フライシートはテントインナー室内と外気との温度差を緩和し、テント内側の結露を防止する役割を果たしています。フライシートとインナーテントの間に空間を作るように設営してください。

VIII ロープを張り固定する

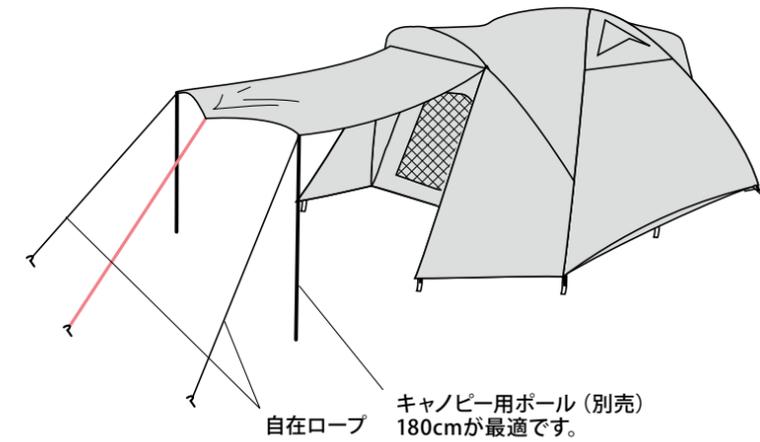
STEP19 ストームガードシステム (ストームガードに付属のロープを結び、ペグで固定する方法) により、テントの安定性を高め、フライシートとインナーテントの接触を防ぎます。両側面にあるセンターループおよびストームガードに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。



注意 テントは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガード」を必ずご活用ください。

IX キャンピの活用など

STEP20 キャンピーとして活用する場合は別売のキャンピーポールを使用します。その場合ロープとペグが必要となりますので、別途お買い求めください。



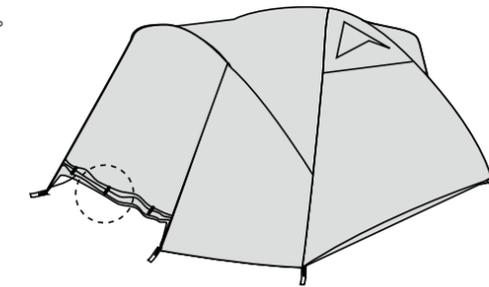
注意

雨天時にキャンピーとして活用する場合は水がたまりやすくなります。その際はキャンピーに傾斜を作るか、図のように中央部にロープを結び、ペグ止めて雨水を流してください。風の強い時は、必ずキャンピーを閉じてください。ポールが折れるおそれがあります。

フロントロールアップでベンチレーション機能がよりよくなります。

補足：フロントロールアップ

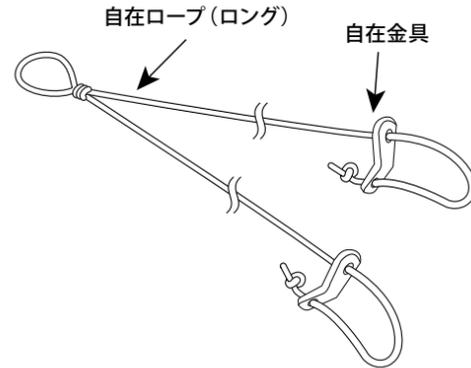
フロントキャンピーにはループとトグルが付いています。下から巻き上げて途中でとめることにより換気が可能になります。雨が降っているときなど、キャンピーを閉じたまま換気したいときに有効です。



設営手順 (コンパクトヘキサ)

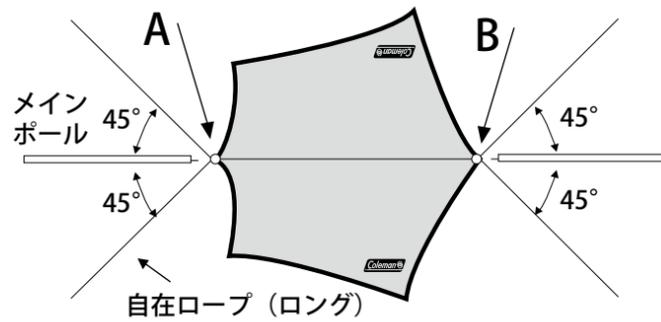
STEP 1

自在ロープ (ロング) の中間に輪を作ります。



STEP 2

シェードスキン (タープ) を設営位置に広げ、自在ロープ (ロング)、メインポールを図のように配置します。自在ロープ (ロング) はメインポールから各々、約45°の方向に置きます。

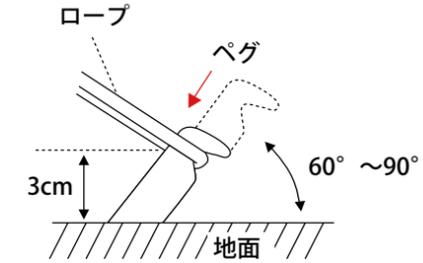


注意

ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。
不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。
タープを張る位置はできるだけ平らな場所をお選びください。
また、右図のA、Bの場所には目印などを置くようにしてください。

STEP 3

前図のように、自在ロープ (ロング) をポール長さ程に伸ばした所に4ヶ所ペグを打ち、伸ばしたロープの先端はペグに掛けておきます。

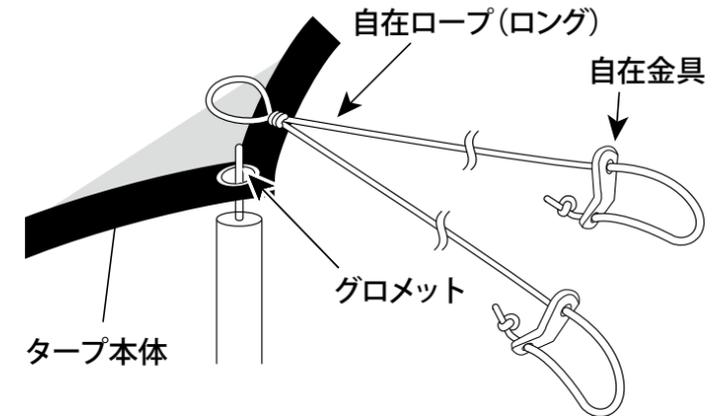


注意

ペグは図のように地面から引かれる方向の反対側へ60°~90°の角度で打ち込みますと、風に対して強く設営できます。

STEP 4

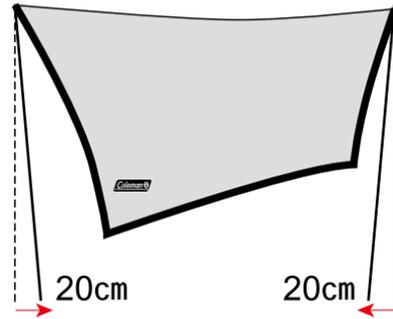
最初にタープ本体のグロメット、次に自在ロープ (ロング) の中間の輪の順にメインポールの先端に掛け、自在ロープ (ロング) の自在金具を調整しながら、前図A、Bの場所にポールが垂直になるように立てます。



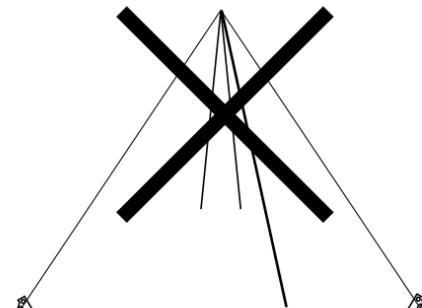
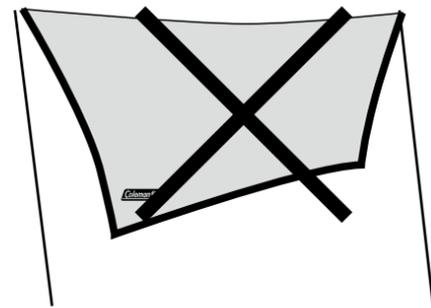
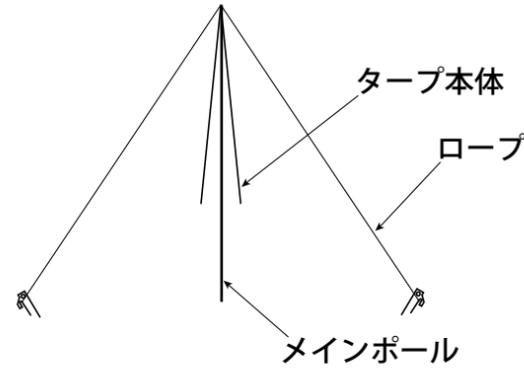
STEP 5

メインポールが垂直に立ったことを確認し、ポールを図のように20cm 程内側に寄せます。
 ※メインポールを内側に寄せることでタープ本体が安定します。

(横図)

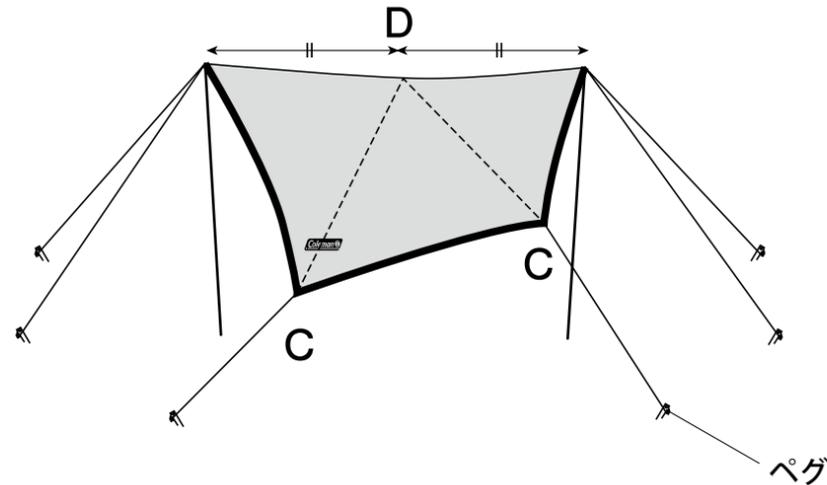


(縦図)



STEP 6

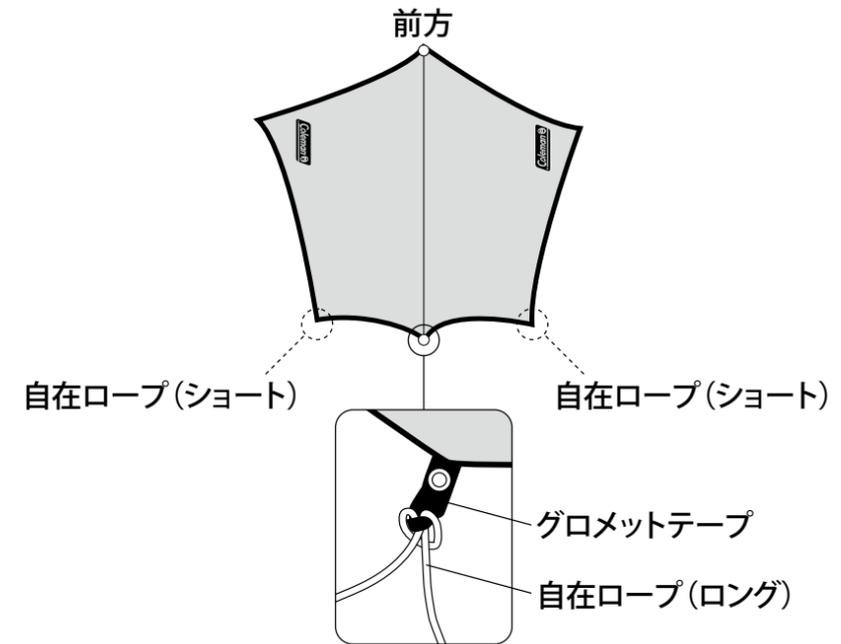
タープの四隅(下図Cの部分)に各々自在ロープ(ショート)を結び、タープの上部の中心(下図Dの部分)とCの四隅部分を結んだ線の延長方向に自在ロープ(ショート)を引き、ペグを打ちます。最後に自在ロープ(ロング、ショート)の自在金具を調節し、タープ本体にしわが出ないように調節します。



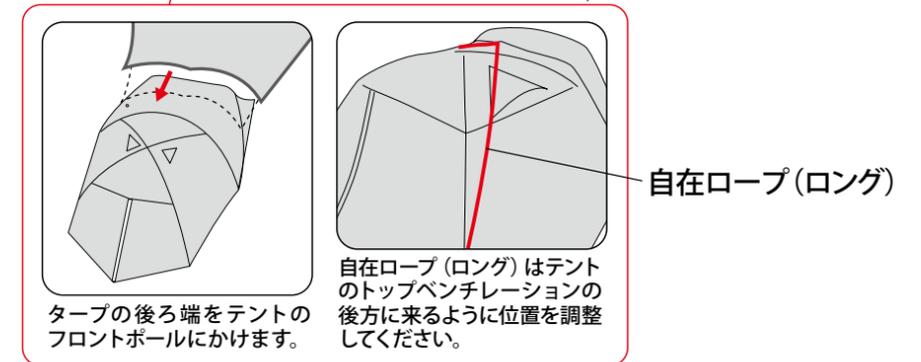
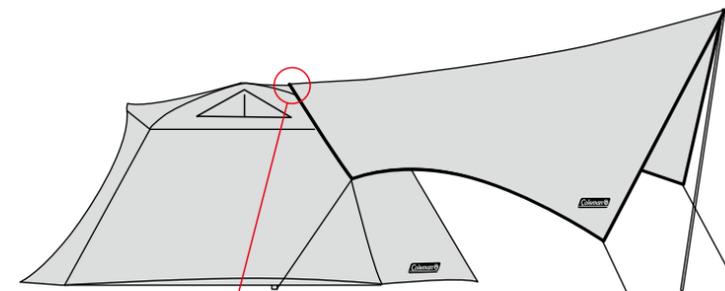
コンパクトドーム / LDX とコンパクトヘキサの連結

STEP 1

シェードスキン(タープ)を広げます。
 自在ロープ(ロング)の中間を、タープ後方のグロメットテープに結びます。
 次に、タープ後方の左右も自在ロープ(ショート)を結びます。

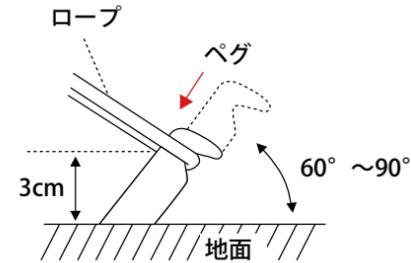


STEP 2



STEP 3

テントの後方に持ってきた自在ロープ (ロング) をペグで固定します。
次に、タープ後方左右の自在ロープ (ショート) をペグで固定します。



注意

ペグは図のように地面から引かれる方向の反対側へ60°~90°の角度で打ち込みますと、風に対して強く設営できます。

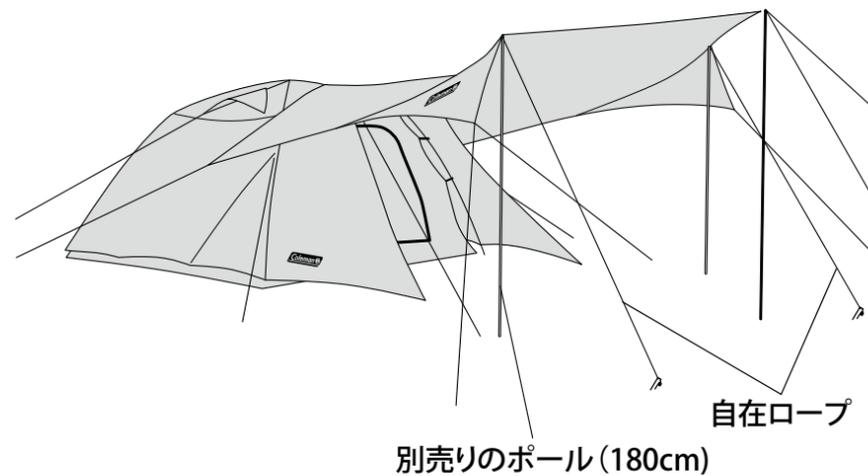
STEP 4

タープ後方をテントに被せ、自在ロープでしっかり固定されたら、メインポールで前側を立ち上げます。メインポールでタープ前方の立ち上げ方は、コンパクトヘキサの設営手順を参照してください。

テントとタープの連結では、メインポール1本を使用して前方を立ち上げるため、残りの1本は使用しません。

張り方のアレンジ

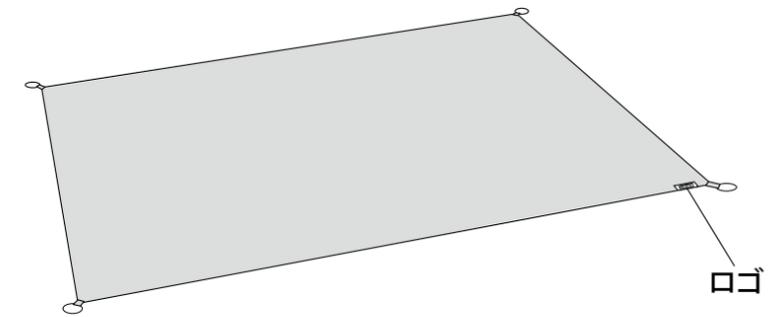
別売りのポールで前方を立ち上げ広いシェード空間にすることが可能です。
その場合、ロープとペグが必要となりますので、別途お買い求めください。



グラウンドシートを利用する場合

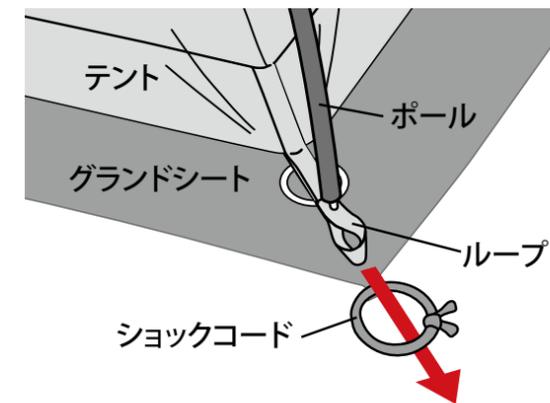
STEP 1

グラウンドシートを広げます。コールマンロゴがある面がインナーテントのフロアと接します (ロゴがない面が地面側になります)。



STEP 2

テントの下に本体を敷き、ループを本体のショックコードに通します。



STEP 3

ループにペグを打ち固定します。

